

● 音更町・池田町広域連携観光推進事業について

1 概要

地方創生推進交付金を活用した昨年度から5年間の事業で、両町の観光資源を活かし、食の高付加価値化に取り組むほか、新たな観光資源や食の開発を進め、それらをつなぐ新たな観光ルートの創出・ブランド化を図る、「観光資源・食の高付加価値化による広域観光ルート創出・ブランド化事業」を推進する事業である。

本事業の推進母体として、音更町、池田町、両町の観光協会と商工会、音更町物産協会、十勝川温泉旅館協同組合で平成28年11月2日に「音更町・池田町広域連携観光推進協議会」を設立し、本町の商工観光課に事務局を置いている。

2 平成29年度の主な取組について

(1) マーケティング調査

事業を推進に当たっての現状分析・課題抽出等を目的とした観光客へのマーケティング調査（対象は日本の他、海外の個人旅行者）を十勝川温泉及び池田ワイン城等で実施したほか、旅行会社及びメディアへのマーケティング調査を実施し、報告書を作成する。

(2) 十勝川温泉オリジナルワインづくり体験による魅力発信事業

十勝川温泉でブドウを栽培し、最終年度に観光客による収穫体験・ワイン醸造体験を行い、完成後は、オリジナルワインとして参加者へ引き渡すほか、試飲会などのイベントを開催する。今年度、十勝川温泉観光ガイドセンター西側にブドウ苗木（山幸）の植樹（30本）を実施した。

(3) 音更町・池田町共同特産品開発事業

帯広大谷短期大学のサークル及び音更高校及び池田高校の希望者により両町の食材を活用したオリジナル特産品の開発を目指す。

(4) メディアを活用した食のPR事業

音更町の十勝ラクレットモールウォッシュ、モール豚及びすずらん和牛、池田町の十勝ワイン、いけだ牛及び黒豚といった食の魅力と両町の素晴らしい景観や観光名所を、SNSやYouTube等のメディアを活用して効果的に発信する。

(5) 食による観光振興人材育成事業

帯広大谷短期大学生、音更高校生及び池田高校生を対象に、両町の食材を使った料理をガーデンスパの加工工房等で試作し、料理のスキルアップを図るとともに、名物料理の開発を共同特産品開発事業と一体的に実施する。

(6) 十勝川温泉・池田町観光タクシー、十勝川温泉版十勝ワインBYO事業

十勝川温泉を訪れた観光客がタクシーで池田町の観光地、飲食店等を巡り、食事とワインを楽しんでもらう観光タクシーのモニターツアーを実施するとともに、十勝川温泉で提供される食事と十勝ワインのマリアージュを楽しんでもらうため、十勝川温泉宿泊施設と池田町小売店の連携により、十勝川温泉での食事の際に、好みの十勝ワインを持ち込めるBYO事業を実施する。

※ BYO～Bring Your Own レストランに酒類を持ち込むこと。

(7) 人材育成、製造・販売研修事業

スキルアップ研修、接客に対する研修、商品販売方法の研修、先進地視察研修等をホテル従業員やワイン城売店従業員、協議会構成員等を対象に実施する。

(8) 広告宣伝事業

両町の食の魅力と素晴らしい景観や観光名所の広告宣伝を新聞、雑誌、フリーペーパー等で行う。